

1. 単元名 見つけよう 広げよう わたしたちの町の宝
～動物園の魅力 再発見プロジェクト～

2. 単元の目標

- ・ 動物福祉の考え方と飼育方法とのつながりについて理解し、各教科等の学習で習得した技能を生かして課題解決することができる。 (知識・技能)
- ・ 自分との関わりで課題を見出し、動物園の魅力を批判的・多面的・総合的に整理・分析し、他者意識をもってまとめ・表現することができる。 (思考・判断・表現)
- ・ 動物園の魅力を伝えるために主体的・協働的に取り組むとともに、他者の考え方のよさを生かしながら自分事として参画しようとするすることができる。 (主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、「大牟田市動物園の歴史」「動物のお世話体験」「たくさんの人に魅力を伝えるための資料づくり」を教材として取り上げる。

観光おもてなし課からGTを招き、大牟田市動物園ができた理由や、閉園の危機を乗り越え現在もたくさんの人に親しまれていることを学ぶことで、活動への意欲を高めることができる。また、動物園の園長さんの話を聞いたり、動物のお世話体験をしたりする通して、大牟田市動物園が取り組む「ハズバンダリートレーニング」「環境エンリッチメント」について体験的に理解することができる。

さらに、体験したことをもとに大牟田市動物園の魅力について話し合い、たくさんの人に伝えるためには、どうすればよいか話し合うことを通して、これからも大牟田市動物園が楽しいところ、すてきな施設として存在し続けるために自分にできることを考え、実行しようとするすることができる。

(2) 児童観

本学級の児童は、校区にある大牟田市動物園には、学校行事で遠足に行ったり、イベントなどがある際は家族で行ったりして、親しみを持っている。また、第3学年において、大牟田市動物園にいる動物の生態や特徴について調べ、ガイドをする活動をしてきている。さらに、1学期は、校区にある市役所や市立図書館などの施設について調べ、どの施設も、たくさんの人が利用できるような工夫があることを学習してきた。そこで、校区にある施設について関心が高まり、その魅力について、整理・分析をしたり、学んだことを思いを持って発信したりできるようになったこの期に本課題を取り上げる意義は大きい。

(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、まず観光おもてなし課からGTを招き、大牟田市動物園は、大牟田市が炭鉱で栄えた時に「たくさんの人に楽しんでもらいたい」という思いから開園したことや、閉

園の危機があったが、市民の声から存続が決定したことなどの話を聞き、大牟田市動物園には長い歴史があり、これまでたくさんの人に親しまれて、支えられてきたことに気づかせる。そして、今ある動物園の姿がこれからもずっと続いていくために自分たちにできることはないかと考えさせることを通して、課題をつかませたい。

次に、実際に動物園へ行き、園長さんからどんな思いで動物園を運営しているのか話を聞き、動物のことを一番に考え、「ハズバンダリートレーニング」と「環境エンリッチメント」の二つに取り組んでいることを捉えさせたい。また、動物の飼育体験を通して、大牟田市動物園が大切にしている二つの取り組みについて体験的に理解できるようにしたり、1学期の学習を生かして、スロープを設置したり、季節の花を植えたりして、たくさんの人に楽しんでもらうための工夫にも気づかせるようにする。

そして、体験を通して感じた魅力を付箋紙に書き、グループでKJ法を用いて整理・分析を通して大牟田市動物園には、飼育員さんが動物のために「心と体に寄り添う飼育」、お客さんのために「たくさんの人に来園してもらう工夫」をしていることを捉えさせるようにする。その後は、捉えた魅力をたくさんの人に発信する内容と方法について考える。その際に、どんな内容を書くと「動物園に行きたい」と思えるのかを話し合わせたり、たくさんの人に発信するためには、どの場所で、どんな方法がよいかや、そのデザインを考えさせたりし、発信できるようにする。

さらには、これらの活動を通して、地域に直接貢献できたということを振り返らせ、さらに自分たちにできることはないだろうか話し合わせることを通して、これからの活動にもつなげていくようにする。

(4) ESDとの関連

○本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

相互性・・・大牟田市動物園では、来園者のニーズだけでなく、動物の視点に立った飼育方法や飼育環境が整えられている。

連携性・・・現在の大牟田市動物園の姿は、市役所の人々や飼育員さん、来園する人々など、多くの人々が協力し続けてきたおかげである。

責任性・・・校区の宝である大牟田市動物園が、これからもたくさんの人々に親しまれるためには、自分たちの行動が大切である。

○本学習で育てたいESDの資質・能力

クリティカルシンキング

自分たちにとって身近な存在である大牟田市動物園は、存続の危機を多くの人たちの努力と工夫によって乗り越えてきたことに気づく。

システムズシンキング

現在多くの人を訪れる大牟田市動物園は、動物・飼育員さん・来園者などのそれぞれの立場にとってよりよい仕組みとなっていることを理解することができる。

コミュニケーション力

飼育員さんの思いや工夫について聞き取り調査をしたり、動物のお世話体験をしたりしたことをもとに、これからもたくさんの人々に親しまれる動物園であり続けるために自分にできること

を話し合うことを通して、価値観や行動の変容を自覚することができる。

○本学習で変容を促すESDの価値観

世代間の公正を意識する

これからも魅力ある動物園であり続けてほしい。

幸福であることを大事にする

いつの時代も、だれも（動物・飼育員さん・来園者）が幸せに生きたいという願いをもって「豊かなくらし」を追い求めている。

○達成が期待されるSDGs

目標11：持続可能な都市・まちづくり

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①大牟田市動物園が取り組む「ハズバンダリートレーニング」「環境エンリッチメント」について理解している。 ②体験したり、調べたりして獲得した知識を、言葉や図、絵などを用いてそれらに関係づけながらまとめる技能を身に付けている。	①GT の話をもとに課題を見出し、大牟田市動物園の魅力を伝えるための方策を考えることができる。 ②大牟田市動物園の魅力について、ポスターやチラシに表現している。	①大牟田市動物園の魅力を知り、たくさんの人に伝えたいという目的意識をもち、意欲的に飼育員さんの話を聞こうとしている。 ②大牟田市動物園の魅力について、友達の考えとの共通点や差異点を見出しながら話し合おうとしている。 ③大牟田市動物園の魅力がたくさんの人に伝わるように発信しようとしている。

5. 単元の指導計画（全14時間）

次	主な学習活動	学習への支援	評価・備考 (△) (・)
1 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大牟田市動物園のこれまでの歴史について知る。 ・来場者数が減少して、閉園の危機があったとは知らなかった。 ・これからもたくさんの人に来て欲しいな。 ○ 課題解決のための方法を話し合う。 ・なぜこんなに大牟田市動物園は来園者が増えたのだろう。何かひみつがあるはずだ。 ・まずは、そのひみつを見つけるために、園長さんや飼育員さんの話を聞きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「大牟田市動物園の魅力を知り、たくさんの人に伝えよう」という課題をつかませるために、GT（観光おもてなし課）を招き、大牟田市動物園がこれまでたくさんの人に親しまれてきたことについて話を聞く場を設定する。 ・課題解決のための方法を捉えさせるために、来園者数の変化を表すグラフを提示し、気づいたことや、もっと知りたいことを話し合う場を設定する。 	△イ①
2 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大牟田市動物園の園長さんの話を聞き、動物園に対する思いを知る。 ・大牟田市動物園は、動物福祉を大切にしているんだな。人気のひみつは、動物福祉が関係していそう。 ・特に環境エンリッチメントとハズバンダリートレーニングの二つに取り組んでいることが分かった。 ・動物園に行って、直接動物を見たり、飼育員さんの話を聞いたりして、動物福祉についてももっと調べたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大牟田市動物園が、動物のことを一番に考えているということをつかませるために、園長さんがどのようなことを大切にしているのか話を聞く場を設定する。 	△ア①
3 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 動物園を見学したり、飼育員さんの話を聞いたりして、動物園の魅力を調べる。 ・飼育員さんは、毎日動物のために大変な作業もがんばっているんだな。 ・飼育員さんが動物のためにしている工夫もたくさん見つけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学したことをもとに魅力を見つけられるようにするために、「動物福祉が表れているところを見つける」という視点のもとに見学させるようにする。 	△ウ①
4 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験を通して感じた魅力を整理・分析し、大牟田市動物園の魅力についてまとめる。 ・どの飼育員さんも、野生の動きを引き出したり、動物に協力してもらいながら健康管理をしたりしていた。 ・心と体に寄り添う飼育をしていることが、大牟田市動物園の魅力だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大牟田市動物園が、「心と体に寄り添う飼育」、をしていることを捉えさせるために、体験を通して感じた魅力をKJ法を用いて整理・分析し、動物福祉の考え方とのつながりを話し合う場を設定する。 	△ア① △ウ②
5 (5時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大牟田市動物園の魅力を発信する方法や内容について話し合う。 ・中央小のみんなや地域の方、動物園に来られた方に魅力を発信したい。 ・チラシや動画だったら、たくさんの人に伝えられそう。 ○ 大牟田市動物園の魅力を発信する。 ・中央小のみんなに魅力を知って欲しい ・たくさんの人がある市役所にもポスターを貼ってもらえないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力を発信するために、誰に、どんな方法で発信したらよいか、これまでの総合的な学習で使った表現方法のもとに話し合う場を設定する。 	△ア② △イ②
7 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動の振り返りをする。 ・これからもたくさんの人が動物園に来てくれるといいな。 ・もっと僕たちにできることはあるかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いを持って発信させるためには、誰に向けて発信したらよいか話し合う場を設定する。 ・今後の活動につなげられるように、自分や友達の頑張りを交流する場を設定する。 	△ウ③

